

## IEC TC100 モンタナ会議報告

## TC100概要

IEC TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステムおよび機器の技術分野に関連する国際標準): 1995年10月に設立-2004年1月より日本が幹事国を務めており、国際幹事: 上原まひる氏(ソニーグループ)、国際副幹事: 佐久間正剛氏(東芝、2025年12月末日まで)、田中宏典氏(パナソニックホールディングス)、Pメンバー(投票権を持つ国): 19カ国、Oメンバー(オブザーバーの国): 26カ国、傘下に12のWG(Working Group)がある。なお、TC100の受託審議団体はJEITAであり、TC100国内委員会を運営している。

2025年10月13日～10月17日に米国・モンタナで、IEC(国際電気標準会議)TC100(オーディオ・ビデオ・マルチメディアシステムおよび機器)Plenary(総会)および傘下グループの会議が開催され、活発な議論が交わされました。以下では会期中の審議・決議の中から重要な議案について紹介します。

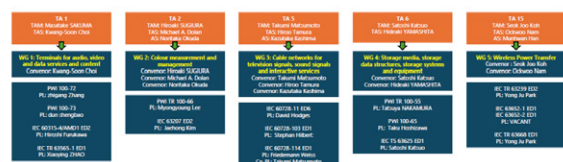


## A. 組織再編

モンタナ会議では、約20年続いた、TC100独自のシステムであるTA(Technical Area)制を廃止し、2026年1月より、全てWG制に移行することが決議されました。

## Proposed conversion of TA's to WG's – overview (1)

Work programme: as of 2025-09-03



## Proposed conversion of TA's to WG's – overview (2)

Work programme: as of 2025-09-03



## B. 主な規格化提案(現TA19)

## IEC 63296 Part1の改定:

日本から、ポータブルマルチメディア機器ーバッテリー持続時間の測定方法を定義するIEC 63296 Part1の改定提案を行いました。今回の改定は日本から提案し開発したPart 3 Wearable powered loudspeakerと定義や用語の整合をとることを目的としています(TA19/WG1)。

## IEC 62301並びにIEC 63474 改定:

TA19とTC59で開発中の待機電力測定方法 IEC 62301 ED3とネットワークスタンバイ電力の測定方法 IEC 63474 ED2はCDVの100%合意を受けFDISへ進む事が合意されました(TA19/WG2)。

## IEC 62087シリーズの新規提案・改定:

part1-3 ED3(TVの消費電力測定方法)は修正箇所が多数あったためCD2を実施することとなりました。

また、同Part88 ED1(Small Network Equipment)はCDが完成し11月より回覧されています(TA19/WG3)。

なお、再編後は引き続きWG8直下のプロジェクトとして活動が継続されます。

## C. TC100国際役員

2026年からの新体制と日本人国際役員は、下記の通りです。

### <新WG体制と日本人国際役員>

- WG1：音声・映像・データサービス・コンテンツ用端末  
WG2：色彩の計測と管理  
    コンビナ：杉浦博明(三菱電機)  
    コンビナ：奥田悟崇(三菱電機)  
WG3：マルチメディア対応ケーブルネット ワーク  
    コンビナ：松本卓三(古河電工)  
    コンビナ：田村博夫(古河電工)  
    コンビナ：鹿嶋一孝(古河電工)  
WG4：ストレージ媒体・データ構造・機器・システム  
    コンビナ：勝尾 聡(ソニーグループ)  
    コンビナ：山下英明(パナソニック)  
WG5：ワイヤレス給電  
WG6：自動車向けのマルチメディアシステムおよび機器  
    コンビナ：小出啓介(川崎重工)  
WG7：エンドユーザネットワーク向けの  
    マルチメディアホームシステムとアプリケーション  
    コンビナ：田中宏和(広島市立大学)  
    コンビナ：小出啓介(川崎重工)  
    コンビナ：松野孝也(帝人)  
WG8：マルチメディアシステムおよび  
    関連機器環境とエネルギー  
WG9：アナログ&デジタル・オーディオ  
    コンビナ：鈴木伸和(ソニーグループ)  
WG10：仮想現実(VR)、拡張現実(AR)、  
    複合現実(MR) システムおよび機器  
WG11：User's Quality of Experience(QoE) on Multimedia  
    Conferencing Services  
WG12：Multimedia systems and equipment for  
    metaverse

## D. 今後の予定

TC100国際幹事より、今後の予定について、下記のような説明がありました。

2026年5月：CAG会議：ハンガリー

2026年11月：Plenary会議：ドイツ

## E. 国内対応

TC100で審議されるIEC規格は、AV&IT標準化委員会において審議を行っています。新規案件については、CAG対応グループを設置して検討を行っています。

## F. 表彰関係

1906賞：勝尾 聡 氏(ソニーグループ)

田中宏和氏(広島市立大学)

江口 伸 氏(広島市立大学)

村上隆史氏(パナソニック)



プロジェクトリーダーとして、規格の発行に尽力

### AV&IT標準化委員会

1) 社数：22社

2) 事業概要

- ・マルチメディア (AV&IT) 機器・システム分野の標準化推進とIEC TC100対応
- ・IEC/TC 100規格・ISO規格・JTC1規格の作成、提案、審議 国際会議対応 など
- ・JEITA規格・JIS規格・国内関連規格の作成、提案、審議 など
- ・上記分野の標準化方針、ビジョン、基本政策の策定と関連委員会への周知
- ・傘下の委員会間の課題解決調整、情報交換共有
- ・委員会、委員会の対外課題への対応と解決調整

3) 関係リンク先

- ・AV&IT標準化委員会 <https://home.jeita.or.jp/cgi-bin/about/detail.cgi?ca=14&ca2=384>
- ・IEC TC100 <https://iec.ch/tc100>